

4年度 決算

一般会計・特別会計合計で 236億1,338万円を支出

税金がどのように使われたのか—令和4年度の決算は、9月15・19・20・21・22・25・26・28日の8日間、決算特別委員会を開催し、審査しました。同委員会では一般会計と2特別会計、3企業会計を原案のとおり認定すべきものと決定。第3回定例会最終日の10月2日に本会議で全ての決算が認定されました。

令和4年度各会計の決算額			
会計名		歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計		208億6,695万1,505円	202億2,548万7,055円
特別会計	国民健康保険	30億8,064万3,349円	30億7,638万8,267円
	後期高齢者医療	3億1,209万2,131円	3億1,150万3,594円
	小計	33億9,273万5,480円	33億8,789万1,861円
企業会計	水道事業	収益的	5億3,774万8,627円
		資本的	1億9,932万7,235円
	下水道事業	収益的	11億4,073万3,222円
		資本的	4億1,072万4,606円
	病院事業	収益的	17億4,467万 106円
		資本的	2億3,706万8,000円
			2億4,079万5,096円

決算特別委員会の主な質疑と意見

- Q** ↓ **A** **Q** ↓ **A** **Q** ↓ **A** **Q** ↓ **A** **Q**
- 事業者の入湯税の滞納については、何らかの対策を講じるべきでは。
- 【委員会の意見】入湯税は、利用者からの預り金であるため、確実に納入するように指導を強化すべきである。
- 公共施設の取り壊しについて、市有財産整備基金を利用し、解体を大幅に前倒ししてはどうか。
- 市有財産整備基金の充当は可能だが、優先順位を決めて取り組んでいかなければならないと捉えている。
- 【委員会の意見】計画に基づくだけでなく、優先度を含め、その都度見直し、具体案を議会に示すべきである。
- 婦人消防協力隊から、さまざまな不満の声があるが、把握しているか。
- 任命が強制的である、演習が体力的にきつい、報酬がない、女性蔑視であるなどといった声があることは承知している。今後、対策を考える。
- 【委員会の意見】自主防災の意識の向上とジェンダーギャップ(男女格差)がない組織の構築を望む。
- 西根・松尾地区の中学校の統合について、今後どのように進んでいくのか。

一般質問

質問した事項

- 渡辺 義光 議員 (市民クラブ) ……07**
 - ・市民憲章唱和と市民歌斉唱の啓発と実践について
 - ・八幡平旅情の普及とPR活動について
 - ・ごみの不法投棄禁止のミニ鳥居とのぼり旗の効用について
- 工藤 直道 議員 (自由クラブ) ……08**
 - ・大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備について
 - ・学校給食費の負担軽減について
 - ・雨水等災害時の避難対策について
- 羽沢 寿隆 議員 (八起会) ……08**
 - ・コロナ禍脱却後における観光資源の活用と商工業振興対策について
- 外山 一則 議員 (八起会) ……09**
 - ・今後の盛岡広域連携について
 - ・にぎわい創出のイベントについて
 - ・第一次産業の所得向上について
- 井上 辰男 議員 (八起会) ……10**
 - ・里山の荒廃による課題と対策について
- 古川 津好 議員 (松西会) ……10**
 - ・公共施設再編計画について
 - ・敬老会について
- 熊澤 博 議員 (自由クラブ) ……11**
 - ・酪農・畜産の経営危機への対応について
 - ・就学援助の在り方について
- 工藤 多弘 議員 (松西会) ……12**
 - ・(仮称)大更駅前顔づくり施設および大更駅周辺開発について
 - ・営農振興支援について
- 齊藤 隆雄 議員 (日本共産党) ……12**
 - ・敬老事業について
 - ・鳥獣対策について
 - ・ごみ処理広域化とごみの分別・減量について
- 高橋 悦郎 議員 (日本共産党) ……13**
 - ・大更駅前周辺開発について
 - ・介護保険について



わたなべ よしみつ
渡辺義光 議員



(市民クラブ)

みんなで唱える市民憲章

行政・市民一体で進める



八幡平市市民憲章(田頭コミセン)

問 大更コミセン主催の「住民と市議会議員のフリースピーキング」が8月4日開催され、市民45人、地区議員5人が出席した。「市民憲章や市民歌をまちづくりの指針として市民、行政一体で活動を強化してはどうか」などの提言があった。

市長 市民憲章は八幡平市の歴史や風土を踏まえ、平成18年11月3日に制定。市民の郷土愛の醸成とまちづくりへの参加意欲を促し、全市民が将来像「農と輝の大地」の実現を目指している。市民憲章唱和運動や市民歌斉唱の啓発に努める。

問 社会科副読本に市民憲章と市民歌が掲載されている。唱和や合唱の指導、校内に看板設置の考えは。

教育長 児童生徒が市民憲章や市民歌を学び地域に対する理解や愛着を持つよう育成に努力する。今後、全校に看板掲示を進めたい。

八幡平旅情を歌う

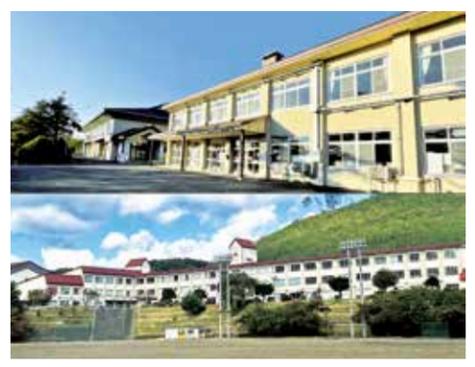
問 星野哲郎さん作曲、民謡日本一の漆原栄美子さんが歌う旧松尾村ご当地ソング「八幡平旅情」の啓発は。

市長 市ふるさと大使の漆原さんが、市・県内外のイベントで広く紹介している。

ミニ鳥居の監視力

問 国道282号安代地区のごみ不法投棄の現場にミニ鳥居が数基設置された。現在、ごみは皆無である。

市長 不法投棄者の心理的効果を狙ったもので効果がある。取り組みの参考にしている。



統合が慎重に検討されている西根地区の2校
(上:西根第一中学校 下:西根中学校)

A 統合検討委員会を今年の8月上旬に開催し、配置計画の内容と方向性の説明を行った。統合校の建設場所の具体的な要件は10月中旬に決定する予定である。また年度末に予定している委員会で具体的な建設場所まで決められればと考えている。

Q 「委員会の意見」統合校建設により、3校(西根中、西根第一中、松尾中)が空き施設になることから、解体費用も考慮し、総合的に進めるべきである。

A 今の図書館は、障がいがあるなど体の不自由な方に対して、どのような対応がなされているか。

A 障がいがある方が利用しやすい施設整備は、できていないのが実情である。

Q 「委員会の意見」障がいがある方も利用しやすいように対応した図書館にするべきである。

Q 都市計画道路大更駅前線土地区画整理事業用地土壌改良業務は、クリーニング店跡地の土壌改良と聞いたが、工事内容は地下水をくみ上げて酸化させ、活性炭に有害物質を吸着するという処理である。

A 「委員会の意見」多額の費用を要していることから、いつまでかかるか、どれくらい土壌汚染の影響があるかなど、議会で詳細を説明してほしい。場合によっては、住民説明会も必要ではないか。

Q 年間11頭上限という当市の熊の駆除頭数は県が決定したようだが、その決め方は県へ問い合わせたが、公開していないとの回答だった。山林の面積を参考に決めているのではないかと推測している。

Q 「委員会の意見」熊の被害が多く見受けられている。市民から不安の声もあるため、熊の駆除頭数の上限をもっと引き上げるように県へ要望してほしい。

Q ため池について、用途廃止により市に移転登記されるような箇所はあるか。

A ため池には、農業用水の供給の目的のために活用されているものと、供給の役割を終えているものがある。ため池ごとに今後の見通しを立て、必要なものは、機能強化をし、役割を終えたものは、用途廃止と判断していく。

Q 「委員会の意見」ため池のほとんどは、役割を終えたものとして廃止されると思われるが、廃止した跡地の活用について検討すべきと考える。



多くの児童が集う大更児童保育クラブ

Q 市独自の带状疱疹ワクチン接種助成について、検討はしているのか。

A 国では、定期接種化の議論をしている。今後、情報を見極めていきたい。市独自の助成については、検討していない。

Q 「委員会の意見」命に関わる場合もあるので、早期に助成を検討するべきである。

A 昨年度、大更児童保育クラブで定員以上の申し込みがあり、入所できない児童がいたと聞いた。状況は把握しているのか。

A 大更児童および大更第二児童で定員を上回る申し込みがあったことは聞いている。入所できなかった児童については、大更小学校からスクールバスを利用し、空きのある東大更児童で対応している。

Q 「委員会の意見」近隣施設の活用をし、大更児童保育の定員を増やす検討をするべきである。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



くどう なおみち
工藤直道 議員



(自由クラブ)

大更駅周辺の未着手事業

財源確保に努め整備推進



大更駅東地区の事業計画予定地

問 駅東地区整備計画案では、文化施設の集積方針があったが検討していくのか。
市長 文化施設については、当初の計画地が市立病院の駐車場となり、用地が残っていない状況である。八幡平市文化芸術推進計画を策定し、ソフト・ハード両面

の施策を審議する。
問 住宅団地、公園の配置計画に変更はないのか。
市長 民間活力を導入した住環境整備計画である。都市計画マスタープランの見直しにおいて検討する。
問 市道松子線道路整備と松子踏切拡幅の進捗状況は

建設課長 周辺に住宅なども建ち、交通量も増えていると認識している。後藤川ほ場整備に係る森子踏切の新設を優先して概略設計を行い、JＲと協議していく。
給食費の負担軽減

問 物価高騰などによる保護者の負担軽減と子育て環境充実が重要と考える。多くの自治体では地方臨時交付金などを活用し学校給食費負担軽減を行っているが、
教育長 物価上昇による増額分については、保護者負担は考えていない。市が負担し、支援を図っている。

災害時の避難対策
問 災害時に自力で避難が難しい高齢者などの個別避難計画の作成状況は。
市長 避難行動要支援者数は、令和5年7月末市全体で3051名、作成数は大更地域で163件である。



はざわ ひさたか
羽沢寿隆 議員



(八起会)

貴重な鉄道資源の活用は

旅行商品の造成に努める



荒屋新町駅扇形機関庫と転車台

問 JＲ花輪線が赤字続きで存続の危機に陥っている。荒屋新町駅の扇形機関庫と転車台は、現存する貴重な鉄道遺産でもある。観光に役立てられるようにJＲと協議を進めてはどうか。
市長 JＲが令和3年に観光イベントを行い、大盛況

であったが、経費がかかり、その後は行っていない。引き続き協議を続けていく。
観光復活の見通し
問 コロナ禍も明け、これから本格的な観光立市を目指していく上での戦略的かつ効果的な施策は。

市長 第4期八幡平市観光振興計画に基づき9の施策と18の具体的アクションを積極的に推進していく。
問 大更駅前にぎわいを創出するために、コンテナショップやキッチンカーなどで飲食街を作ってはどうか。土地付きの店舗出店

よりは参入しやすいのでは。
市長 さまざまな支援策を打ち出し、令和6年から分譲を予定している。説明会を開くなど出店者の意向を聞きながら対処する。
商工振興条例制定
問 全国半数近くの自治体

において商業振興条例が定められている。連続性を担保する上でも検討しては。
市長 今までも商工業振興には手厚く支援してきた。その時々財政的状況からも鑑みると、義務的な制約のない倫理的なもので議会側で整備していただきたい。



そとよまか ずのり
外山一則 議員



(八起会)

農業者の現状打破へ英知

情勢を注視しながら対応



厳しさが増す農業経営

問 農家を救済するための支援を県や国に早急に求めるべきと考えるが、要望は上げているのか。
市長 当市単独では、畑地化交付金の財源確保などは政党要望などで行っている。現状での大きな問題に関しては岩手県市長会として、

県内14市の総意のもとに昨年度から県市長会要望として取りまとめ、国や県に要望を上げている。
問 農業者が、ふるさと納税の返礼品提供事業者として活躍することは、所得向上につながるかと考える。今後、農産物の返礼品開拓の

ための勉強会が必要と考えるが、見解を伺う。
市長 農産物返礼品拡大が課題である。勉強会なども検討しながら返礼品提供事業者の開拓に一層取り組む。
問 地域商社のような、当市の農産物を市内外に売る体制が必要と考えるが。

市長 地域商社的な役割の立ち上げは喫緊の課題。金融機関などとも協議をしながら、窓口の一本化を図っていきたくと考えている。
八幡平ふるさと花火まつり会場
問 会場を西根、松尾、安

代の各地区持ち回り開催はできないのか。
市長 周辺道路への影響、駐車場の収容台数の確保、飲食屋台やイベントスペースの確保などを考慮すると、現在の松尾総合運動公園が最適であり、持ち回り開催は難しいと捉えている。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



井上辰男 議員 (八起会)



里山の荒廃が及ぼす影響

周辺環境の改善が重要



明るい里山「平館ひょうたん池」

問 里山は、古くから日常的に人が立ち入り、植林と除間伐、山菜やキノコ採りなどを行ってきた。それにより緩衝帯となり、野生動物も人里に降りてこなかった。また、管理された里山には多種多様な草花が咲き、昆虫採集など、子どもの遊

び場でもあった。しかし、近年、里山の荒廃により野生動物が人里に接近する機会が増え、農作物や人身被害も増えている。放置された里山は、日光も届かず希少な山野草も育たない。土壌の保水能力も低下し、災害が起きやすくなるばかり

でなく、見通しが悪く、人の目が行き届かなくなった里山には、ごみなどの不法投棄が横行するようになった。今後の対策を伺う。

市 耕作放棄地の伐採や刈払いを行い、明るく見通しのよい空間づくりが鳥獣とすみ分けられ、有害鳥獣

の出没や農林業への被害防止も図られることから、周辺環境を改善することが最も重要である。



古川津好 議員 (松西会)



なぜ解体ゲートボール場

請願前から解体予算措置



解体が急がれる焼却場などの建物

問 市の公共施設再編計画で掲げられている、旧田山中学校などの廃止対象施設の解体は、今後どのように進めていくのか。

市 総合計画の3年ごとの実施計画で、施設の経過年数や危険度などを勘案して計画的に解体したい。

問 ごみの広域処理化により、将来市内に2つの稼働しない焼却場を持つことになる。アスベストの問題もあるが、早く解体を進めべきと思うが、どのように考えるか。

市 早い時期に解体すれば廉価に済んだが、現在は解体費が高額となっている。盛岡広域での稼働まで10年以上の時間があるので、早い段階で取り壊したい。

問 閉鎖通知を出した安代の屋内ゲートボール場をあと3年使用させてほしいとの請願にかつて町長を務められた方も連署されている。このような方の思いをどのように受け止めているか。



熊澤 博 議員 (自由クラブ)



繁殖育成センターの利用

預託牛の頭数は238頭



生みの親より育ての親

問 和牛の子牛は1頭売ると20万円の赤字である。6月分の乳価は123円で、生乳1kg当たり30円の赤字である。生産費は高騰を続けており、国へ支援の要請が必要ではないか。

市 新岩手農協が指定管理者で、8名の職員体制で運営している。肉牛が142頭、乳牛は96頭で計238頭となっている。本年度

末の預託数は、肉牛318頭、乳牛201頭の519頭を目標に設定している。

問 牛の尻尾の毛根検査によるゲノミック評価で、将来の能力が判明する。市の助成で普及させるべきでは。

市 和牛生牛の補給金制度や和牛生産者臨時経営支援事業で、ブロック別の価格が全国平均を下回った場合、差額の4分の3を補填し支援するようだが。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



くどうたひろ 工藤多弘 議員

(松西会)



市民が納得できる理由は 市外からも多く人が来る

問 多額の税金を投入し施設を造らなければいけない「市民が納得できる理由」と施設ができることにより大更駅前がにぎわう根拠は。

それにより、市民の皆さんにも利益が出てくる。
問 前回の教育長答弁で新図書館は大更小、西根中の児童生徒が帰りに寄り、子どもたちにとって喜びであるとあった。例えば、安代方面で花輪線を利用する場合、荒屋新町から片道40分

運賃590円、本数も少ない。それを踏まえれば現図書館を充実するべきでは。
教育総務課長 新図書館になった場合、今より不平等になるとは思っていない。駅を利用すれば、本数は少ないが今よりも遠隔の場所に住んでいる子どもたちも

利用しやすくなると思う。
宮農振興支援策は
問 生産資材の価格高騰に対する市独自の支援対策は。

市長 ワンストップで相談受付できる就農相談会などを実施している。国の補助要件に合わない経営継承の方に対しては、市が支援する方向で関係機関と連携を図りながら検討する。



(仮称)大更駅前顔づくり施設予定地



さいとうたかお 齊藤隆雄 議員

(日本共産党)



有害鳥獣による被害状況 熊の人身被害が4件発生

問 今年の被害状況を伺う。
市長 通報件数は、昨年の2・1倍で221件である。ツキノワグマの人身被害が最新で4件、農作物被害が30件、イノシシの農作物被害が13件などとなっている。

市長 県では、推定個体数を管理計画に明示しておりツキノワグマ県内約3700頭、シカは10万頭、イノシシの生息頭数は不明である。市内の野生鳥獣については、把握できていない。
問 被害防止への今後の対策を伺う。

市長 有害鳥獣捕獲業務は市猟友会へ委託している。農畜産物など被害防止電気柵設置への補助や市鳥獣被害対策実施隊の隊員確保のため、狩猟免許の新規取得費補助金を継続し、人身被害の防止、農林業被害の減少に努めていきたい。

ごみ減量の重要性和成果の掲載
問 ごみの減量の取り組みや成果などを広報などで紹介してはどうか。
市長 令和4年度1人1日当たりのごみの排出量が県内市町村で最も多くなっ

ている。市政モニター制度の活用を検討している。この制度は、市民の皆さまの声を広く聞き、市の事業に反映させていくため、令和4年度から開始した。ごみ減量やリサイクルに関する意識、問題点を整理して、今後の取り組みを考えている。



鳥獣対策用ドラム式箱罠



たかはしえつろう 高橋悦郎 議員

(日本共産党)



新図書館の利用増えない 利用環境の改善を大切に

問 大更駅前顔づくり施設の利用者見込み数について伺う。この施設に市立図書館も移転新設する計画であるが、新図書館の利用者見込み数を、年間2万人と説明された。現在の市立図書館のコロナ禍前の平成30年や令和元年の利用者数は2

万人を超えており、新図書館の床面積などが増えても数十億円投資する費用対効果が見込めないことになる。
教育総務課長 「顔づくり施設」へ移転する新図書館は、利用環境の改善を何より大切に考えている。
問 この施設の子育て支援

エリアの平日1日当たりの利用者見込み数は、
地域福祉課長 利用者数の目標は10名、その他にイベント広場の利用者が5名。合わせて1日平均15名程度としている。
問 現在大更駅前、在宅で保育している方たちが利

用する「たからっこ広場」がある。この施設の利用者が「顔づくり施設」の子育て支援エリアを利用すると思われる。今の利用者数は、理由になるのか。
地域福祉課長 今年4月から8月まで、大人と児童を合わせて559人である。
問 「たからっこ広場」の

利用者は、1日5人から6人程度になる。現在の施設でも十分対応できるのではないか。新しい施設が必要ない理由になるのか。
地域福祉課長 「顔づくり施設」には、新しく乳児コーナーも整備する。ゼロ歳から利用できる施設である。



現市立図書館、周辺は公共施設が

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。